

牛乳の商習慣実態に関するアンケート調査結果

2024年1月22日

一般社団法人日本乳業協会

— 目 次 —

1. 調査の趣旨.....	4
2. 調査方法.....	5
3. 調査結果概要.....	5
4. 調査詳細.....	6
【牛乳製造の有無、物量について】.....	6
設問1: 貴事業所ではチルド流通の家庭用もしくは業務用「種類別 牛乳」(以下「牛乳」)を製造していますか?(学乳は除きます).....	6
設問2: 「牛乳」の年間製造量をお教えてください。年間 ()t.....	6
設問3: 「牛乳」の包装容量をお教えてください。複数種ある場合は全てご記入下さい。mL.....	6
設問4: 製造している「牛乳」の賞味期限をお教えてください。製造後()日間.....	6
【納品期限について】.....	7
設問5: 納品先から製造何日以内の納品(D+〇以内)を要請されていますか? チェンネル別でお答えください。.....	7
設問6: 運用上、各チャンネルには D+〇で納品されていますか?.....	8
納品先からの納品要請日(D+ 何日以内)と運用上の納品日(D+ 何日)について.....	9
納品要請 3 日以内と 3 日超とで分けたときの納品要請日および納品日について.....	11
【顧客との契約について】.....	12
設問7: 欠品発生時のペナルティの取り決めはありますか?.....	12
取り決めの有無にかかわらず、もし欠品発生時にペナルティを受けているとしたらそのペナルティの内容を教えてください。.....	12
設問8: 欠品発生時のペナルティ以外に製造者側に明らかに不利と考えられる取り決めはありますか?.....	12
もしあれば、その内容を教えてください。.....	13
【日付逆転について】.....	13
設問9: 賞味期限の日付逆転納品は許容されていますか?.....	13
もし、許容されていない場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。(年間()t).....	14
【見込み生産について】.....	14
設問 10: 見込み生産のために、多く生産し過ぎた製品(製造工場管理内)の取り扱いほどの様にしていますか?(例:回収して加工乳、乳飲料へ再利用等).....	14
食品ロスとして取り扱っている場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。(年間()t).....	15
設問 11: 見込み生産の精度改善の取り組みは進んでいますか?.....	15
もし進んでいるとしたら、お分かりになる範囲で改善量をお教えてください。(年間()t).....	15

【その他】	15
設問 12:食品ロス削減の観点で、取引先へ改善要請したい商習慣があれば、教えてください。(自由記述).....	15
もしその商習慣が改善されれば、年間どの程度のロスが改善される可能性 があるか、お分かりになる範囲でお教えてください。(年間(t))	16
設問 13:この数年で食品ロスの観点で商習慣が改善された事例はありますか？	16
もしあれば、その内容をお教えてください。.....	17
また、その事例によりどの程度のロスが改善されたかお分かりになる範囲でお教えてください。(年間(t))	17
設問 14:「2024 年問題」(トラックドライバーの時間外労働の規制強化に伴う物流量減少 問題)へは様々な施策が必要となると考えられます。その際、返って欠品リスク や食品ロスが増加すると考えられる施策はありますか？	17
もしあればその内容をお教えてください。.....	17
発生が予想されるロス量をお分かりになる範囲でお教えてください。(年間(t))	18
設問 15:賞味期限を長くつけるために「日付が変わる夜中 0 時スタート」の生産を行って いますか？.....	18
参考:調査票	19

1. 調査の趣旨

食品ロス削減に向けて、賞味期限の長い加工食品類における納品期限(3分の1ルール)の緩和、賞味期限の安全係数(0.8以上へ)の見直し、賞味期限の年月大括り表示といった対策が進んでいる一方、賞味期限の短いチルド流通乳飲料、特に「種類別 牛乳」(以下「牛乳」)については、厳しい納品期限等の商習慣が続き、製品廃棄ロスの遠因となっている。さらに、「物流 2024 年問題」が目前に迫っており、現状の商習慣を改善する必要性がこれまで以上に高まっていることから、今回、「牛乳」(学校給食用牛乳を除く)を対象とした商習慣の実態を把握するため、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法

期間:2023年7月25日～9月20日

対象:一般社団法人日本乳業協会の都道府県協会会員の加盟262事業所

方法:アンケート用紙を郵送で配布、回収

3. 調査結果概要

1. アンケートの回答状況

アンケートの送付数:262部

アンケートの回答数:222部(85%)

うち有効回答数:194部(74%)

アンケート回収数は222部で、回収率は85%であった。このうち有効回答数は194部、有効回収率は74%であった。

無効とした回答は、廃業、牛乳の製造休止中またはチルド牛乳製造なしなどである。また、回答を留保した事業所や大半の設問に無記入であった事業所についても無効とした。

当調査とは別の調査で把握していた事業規模(製造要員数)のグループ別に集計を行い、その有効回答数は下記の通り。

事業規模	回答数	回答率
10名以下	44部	23%
11～50名	53部	27%
51名以上	61部	31%
不明	36部	19%
計	194部	100%

なお、各回答コメントについては、明らかな誤字を除き、出来るだけ手を加えずにそのままの内容を記載している。

4. 調査詳細

【牛乳製造の有無、物量について】

設問 1: 貴事業所ではチルド流通の家庭用もしくは業務用「種類別 牛乳」を製造していますか？(学乳は除きます)

「牛乳」を製造していると回答した 194 事業所について、設問 2 以降の回答を下記に示す。

設問 2: 「牛乳」の年間製造量をお教えてください。

無回答	500 t 以下	501 t～5,000 t	5,001 t～20,000 t	20,001 t 以上
22 (11%)	56 (29%)	41 (21%)	35 (18%)	40 (21%)

無回答だった事業所が 22 場所あった。

設問 3: 「牛乳」の包装容量をお教えてください。複数種ある場合は全てご記入下さい。

包装容量 (mL)	事業所数 (%)	包装容量 (mL)	事業所数 (%)	包装容量 (mL)	事業所数 (%)
90	4 (2%)	230	1 (1%)	500	125 (64%)
100	22 (11%)	237	2 (1%)	720	2 (1%)
125	2 (1%)	250	9 (5%)	800	3 (2%)
150	1 (1%)	300	8 (4%)	900	36 (19%)
180	66 (34%)	450	4 (2%)	946	7 (4%)
200	145 (75%)	473	7 (4%)	1,000	147 (76%)
				4,000mL 以上	28 ★

多様な包装容量の牛乳を製造していた。

★: 4,000mL、5,000mL、10,000mL、15,000mL、業務用等を製造している事業所の総数である。

設問 4: 製造している「牛乳」の賞味期限(製造後の日数)をお教えてください。

賞味期限(日)	4	5	6	7	8
事業所数	4 (2%)	8 (4%)	19 (10%)	28 (14%)	23 (12%)
賞味期限(日)	9	10	11	12	13
事業所数	18 (9%)	15 (8%)	2 (1%)	24 (12%)	14 (7%)
賞味期限(日)	14	15	16	18	23
事業所数	17 (9%)	15 (8%)	2 (1%)	9 (5%)	1 (1%)

賞味期限 7 日間が一番多く 14%、続いて 8 日間の 12%であった。最も短いのは 4 日間で 4 事業所(2%)であった。1 週間程度の賞味期限が多く、賞味期限 6、7、8 で全体の 36%を占めた。

★:賞味期限を 5、8 等複数日の回答については、賞味期限 5 日、8 日の事業者数にそれぞれ加えた。また 5～8 と範囲記入の場合は、明確な 5 日、8 日を賞味期限とした。

【納品期限について】

設問 5:納品先から製造後何日以内の納品(D+○以内)を要請されていますか？

チャンネル別でお答えください。(CVS:コンビニエンスストア)

納品要請日 D+ 日以内	CVS	量販	ドラッグストア	その他
0	2	3	3	2
1	14	28	18	22
1～2	—	1	—	1
2	19	25	14	18
3	7	16	13	15
3～4	—	—	—	1
3～5	1	1	1	1
4	9	12	11	15
4～5	1	—	—	—
5	9	11	6	11
6	2	3	2	6
7	3	6	2	6
8	2	3	—	3
9	—	2	2	2
10	2	2	1	1
12	1	1	2	1
13	1	1	1	1
要請なし	5	8	5	7
計	78	122	81	111
取引なし、空白	116	72	113	83

事業所数

設問 6: 運用上、各チャンネルには D+[○]で納品されていますか？

納品 D+ 日以内	CVS	量販	ドラッグストア	その他
0	5	5	4	2
0~1	1	3	3	1
1	21	38	22	32
1~2	3	7	4	3
1~3	1	1	1	2
1~5	1	1	1	1
2	14	21	15	17
2~3	3	2	2	3
2~4	2	2	2	3
2~5	1	—	1	1
2~6	—	1	—	—
3	5	9	8	11
3~4	1	2	1	1
3~5	1	—	—	—
3~6		1	1	1
4	5	8	6	10
4~5	—	—	—	1
5	5	7	3	9
6	2	2	—	5
7	3	6	4	5
8	2	5	1	3
9	—	1	1	3
10	1	4	2	1
11	1	2	2	1
12	4	4	4	4
13	1	1	1	—
14	—	1	1	1
計	83	134	90	121
取引なし、空白	111	60	104	73

事業所数

納品賞味期限はチャンネルに関わらず同一である傾向があった(チャンネルに関わらず同一製造日の製品を納品しているようである)。

納品先からの納品要請日(D+ 何日以内)と運用上の納品日(D+ 何日)について

A: 納品先からの納品要請日 D+ 日以内と回答した事業所数

B: 運用上の納品日 D+ 日以内と回答した事業所数

賞味期限 8 日以内の製品

納品日 D+ 日以内	CVS		量販		ドラッグストア		その他	
	A	B	A	B	A	B	A	B
0	—		2	2	—		1	1
0~1	—		—	1		1	—	
1	—		6	10	1	1	6	12
1~2	—	1	—	2		1	1	1
2	—		5	2	—		5	3
2~3	—		—		—			1
3	—		1	1	—		1	
4	—		—		—		2	1
4~5	—		—		—			1
5	—		2	2	—		3	4
6			1	2	—		1	4
7	—	1	1	3		1	2	2
8	—			1	—		—	
要請なし	—		2		—		3	
計	0	2	20	26	1	4	25	30

事業所数

賞味期限 9 日以上の製品

納品日 D+ 日以内	CVS		量販		ドラッグストア		その他	
	A	B	A	B	A	B	A	B
0	—	1		1	—	1		
0~1	—	1	—	2		2	—	1
1	5	10	10	16	9	13	7	10
1~2	—	2	1	4		3		2
1~3		1		1		1		2
1~4								
1~5		1		1		1		1
2	15	10	15	16	13	14	10	12
2~3	—	3	—	2	—	2		2
2~4		2		2		2		3
2~5		1				1		1
2~6				1				
3	6	5	13	8	11	8	13	12
3~4		1		1			1	
3~5	1	1	1		1		1	
4	8	6	11	8	11	8	11	8
5	4		4	2	4	1	3	1
6	1		2	1	2	1	4	1
7	1		3	1	2	1	3	2
8	1	2	2	4	—	1	2	3
9			2		2		2	2
10	1	1	1	4	1	2		1
11		11		2		2		1
12	1	4	1	4	1	4	1	4
13	1	2	1	1	1	1	1	
14				1		1		1
要請なし	5		6		5		4	
計	50	55	73	83	63	70	63	70

事業所数

納品要請 3 日以内と 3 日超とで分けたときの納品要請日および納品日について
賞味期限 8 日以内と 9 日超について、それぞれ納品要請と運用上の納品日の件数を
まとめた。

賞味 期限	納品要請日 D+日以内	CVS		量販		ドラッグストア		その他	
		A	B	A	B	A	B	A	B
8 日 以内	3 日以内	0	1 (11%)	14 (78%)	18 (69%)	1 (100%)	3 (75%)	14 (64%)	18 (60%)
	3 日超	0	8 (89%)	4 (22%)	8 (31%)	0 (0%)	1 (25%)	8 (36%)	12 (40%)
	計	0	9 (100%)	18 (100%)	26 (100%)	1 (100%)	4 (100%)	22 (100%)	30 (100%)
9 日 超	3 日以内	26 (58%)	37 (67%)	39 (58%)	54 (65%)	33 (57%)	48 (69%)	30 (51%)	46 (66%)
	3 日超	19 (42%)	18 (33%)	28 (42%)	29 (35%)	25 (43%)	22 (31%)	29 (49%)	24 (34%)
	計	45 (100%)	55 (100%)	67 (100%)	83 (100%)	58 (100%)	70 (100%)	59 (100%)	70 (100%)

事業所数

上表を全体でまとめると下記の件数となった。

賞味期限	納品要請日 D+日以内	要請	納品
8 日以内	3 日以内	29 (71%)	40 (58%)
	3 日超	12 (29%)	29 (42%)
	計	41 (100%)	69 (100%)
9 日超	3 日以内	128 (56%)	185 (67%)
	3 日超	101 (44%)	93 (33%)
	計	229 (100%)	278 (100%)

事業所数

賞味期限 8 日以内の製品について、3 日以内の納品要請が全体で 71%となった。
また賞味期限が長い 9 日超の製品でも 3 日以内の納品要請を受けているのが半数を
超える 56%となった。賞味期限 8 日の製品については、1/3 ルールがあることが示唆
された。また、賞味期限の長い製品についても、3 日以内の納品要請を受け、過度な
鮮度志向があることがうかがえた。

【顧客との契約について】

設問 7: 欠品発生時のペナルティの取り決めはありますか？

	全体	10名以下	11名～50名	51名以上	不明
はい	13 (8%)	0 (0%)	2 (6%)	11 (25%)	0 (0%)
いいえ	157 (92%)	41 (100%)	50 (94%)	33 (75%)	33 (100%)
計	170 (100%)	41 (100%)	52 (100%)	44 (100%)	33 (100%)

全体の92%が取り決めはないと回答した。

欠品発生時取り決めの有無にかかわらず、もし欠品発生時にペナルティを受けているとしたらそのペナルティの内容を教えてください。

「ペナルティなし」も含め全部で45事業所から回答を得た。主な回答を記す。

1. 売価補償、利益補償: 16件
 - ・欠品分の粗利益保障又は売価補償
 - ・全てではないが、一部のユーザーから補償を求められる
 - ・明確にはなっていないが大手客先であれば、数量により金額請求の可能性有り
 - ・状況によるが、売価補償・粗利補償が求められる場合がある
2. 欠品はゆるされない: 10件
 - ・追加製造にて対応
 - ・欠品は許されない、追送等で必ず納品することになっている
 - ・「欠品事態はありえないもの」とされ、あらゆる手段で納品することが求められる
 - ・欠品店舗にメーカーが欠品分を直接納品、自社配送にて店舗納品
 - ・翌日まで製造して必ず遠方であっても製造メーカーにて指定先へ届ける
3. 都度対応: 3件
 - ・その都度、納価の交渉等
 - ・その都度対応
4. その他
 - ・当社の責任(納品ミス、遅配等)は売価返上を求められる場合がある
 - ・センター側が破損させたにもかかわらずメーカー負担にさせられる
(数十本単位の場合でも)大手ドラッグチェーン、大手スーパー

設問 8: 欠品発生時のペナルティ以外に製造者側に明らかに不利と考えられる取り決めはありますか？

	全体	10名以下	11名～50名	51名以上	不明
はい	16 (10%)	0 (0%)	5 (10%)	8 (20%)	3 (9%)
いいえ	147 (90%)	40 (100%)	45 (90%)	33 (80%)	29 (91%)
計	163 (100%)	40 (100%)	50 (100%)	41 (100%)	32 (100%)

もしあれば、その内容を教えてください。

全部で31事業所から回答を得た。主な回答を記す。

1. 再配送:28件

- ・欠品が不可の納品先については別車等で急納を要求されている
- ・取決めは無いが、後日、各店舗別届の配送になることがある
- ・欠品時の翌日の店別配送(製造者手配・負担)。但し正式な取り決めではない
- ・天災等で到着が遅れそうな場合は特別便の使用を求められる事がある
- ・自然災害時空輸による納入

2. 賞味期限:4件

- ・PB商品納品時、複数賞味期限の拒否
- ・賞味期限の若い日付を求められるため、日々の生産調整に追われる
- ・一部スーパーチェーンで鮮度不良という名目で賞味期限??(ママ)日前の商品が返品される

3. 取引関係

- ・発注買い取りではなく返品交換(高速サービスエリア、道の駅、JAなどの直売所、その他観光土産販売店)
- ・当日キャンセルになった場合に料金は発生しない。商品も残ってしまう
- ・取り決めはないが、対象商品のカット(=取扱い中止)の圧力や条件見直し圧力を受ける可能性がある
- ・取り決め等はなく、訪問時に罵声を浴びせられる等
- ・リベート

4. 発注リードタイム

- ・発注リードタイムが短い為、前日等に注文を受けると製造が間に合わない
- ・製造リードに間に合っていないので、見込み製造している
- ・納品許容期限が短い割に見込み生産をしなければならないので、許容オーバーによるロスや在庫不足が発生するリスクが高い

【日付逆転について】

設問9:賞味期限の日付逆転納品は許容されていますか？

	全体	10名以下	11名～50名	51名以上	不明
はい	15 (9%)	5 (13%)	4 (9%)	1 (2%)	5 (17%)
いいえ	143 (91%)	33 (87%)	42 (91%)	43 (98%)	25 (83%)
計	158 (100%)	38 (100%)	46 (100%)	44 (100%)	30 (100%)

はいと回答したのは全体の9%、いいえは91%であり、ほとんどが日付逆転納品を許されていないかった。

もし、許容されていない場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。

(年間(t))

年間0.7t、12t、136tがそれぞれ1件、1tが3件、5tが2件であった。また、「不明」、「?」と回答したのが8事業所、少量あるいは極小としたのが2件であった。

【見込み生産について】

設問 10: 見込み生産のために、多く生産し過ぎた製品(製造工場管理内)の取り扱い
はどの様にしていきますか?(例:回収して加工乳、乳飲料へ再利用等)

全部で162件の回答があった。主な内容を記す。

1. 回収して乳飲料、加工乳、発酵乳に再利用:87件
 - ・回収して、加工乳、乳飲料へ再利用
 - ・賞味期限内のうちに加工乳、ヨーグルトへ再利用。賞味期限を超えたものについては分別して乳は家畜飼料として提供
 - ・回収して加工乳、乳飲料へ再利用。乳飲料等の在庫の関係で再利用できない時は、牛乳としてディスカウント系に販売するときもある
 - ・翌日の納品分に使用。納品許容を超える場合は回収。加工乳、乳飲料へ再利用。
2. 廃棄:6件
 - ・基本的に再利用はせずに廃棄
 - ・生産のし過ぎは、ほぼ発生しない。生じた場合は、全て廃棄している(少量)。
 - ・再利用を行うが限度がある為社内販売もしくは廃棄
3. 社内販売、ディスカウント販売:15件
 - ・売価を低くし、営業処分
 - ・自社販売店で安売り、それでも残る場合 1/3 程度で市場へ販売、それでも残る場合社員販売
 - ・了承頂ける取引先に販売(値引をする場合あり)
 - ・同日付で翌日も使用の依頼をする
 - ・社内斡旋等
4. 見込み生産なし、ロスはなし:40件
 - ・全量販売しています。牛乳においてロスの発生はございません。
 - ・見込み生産はない
 - ・受注生産

食品ロスとして取り扱っている場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。
(年間(t))

ロス量(年間 t)	0～1 t 未満	1 t ～10 t 未満	10 t 以上	少量・不明
事業所数	26 (50%)	12 (23%)	11 (21%)	3 (6%)

年間の食品ロス量 1 t 以下が最も多く 26 件であった。回答の中で最大だったのは 660 t であった。

設問 11:見込み生産の精度改善の取り組みは進んでいますか？

	全体	10 名以下	11 名～50 名	51 名以上	不明
はい	67 (50%)	15 (42%)	15 (42%)	21 (55%)	16 (64%)
いいえ	68 (50%)	21 (58%)	21 (58%)	17 (45%)	9 (36%)
計	135 (100%)	36 (100%)	36 (100%)	38 (100%)	25 (199%)

全体では、はい、いいえがほぼ等しくなった。また、事業所規模が大きくなると、精度改善の取り組みが進んでいる傾向が認められた。

もし進んでいるとしたら、お分かりになる範囲で改善量をお教えてください。(年間(t))

改善量(年間 t)	0～1 t 未満	1 t ～10 t 未満	10 t 以上	少量・不明
事業所数	8 (30%)	3 (11%)	6 (22%)	7 (27%)

回答は 24 件あった。そのうち年間 1 t 未満が最も多く 8 件(全回答の 30%)であった。改善量が最も多かったのは、年間 300 t であった。

【その他】

設問 12:食品ロス削減の観点で、取引先へ改善要請したい商習慣があれば、教えてください。(自由記述)

全部で 71 件の意見を頂いた。主な意見を記す。

1. 発注リードタイムの延長:17 件

- ・発注から納品までのリードタイム(極めて短い)
- ・製造に間に合うタイミングでの発注リードタイムの変更
- ・リードタイムを中 1 日～中 2 日まで OK としてもらいたい
- ・受信時間が早くなるもしくは受信リードタイムが 1 日前倒しになれば、見込み製造がなくなる
- ・発注のリードタイムが短すぎます。(例)14:00 発注→16:00 出荷

2. 1/3 ルールの見直し、入荷許容の緩和:32 件

- ・1/3 ルール(納品期限)緩和による出荷許容延長
- ・賞味期限内商品で残半分あれば納品させてほしい

- ・賞味期限を延長しても納品期限が緩和されず、製造時に発生する食品ロスが改善されない
- ・納品期限のルールをもっと緩和してもらいたい。賞味期限を延長しても、ほぼ変更されていない。
- ・賞味期限の割に納入許容が厳しいので許容を延ばしてほしい

3. 特になし:21 件

4. その他

- ・賞味期限が混同した製品の同時納品が出来ない(日付の逆転ではなく1回の納品で異なった賞味期限の納品不可)
- ・日付混合(先入先出)を了承してもらいたい
- ・賞味期限内の物は等しく使う 新しい物の方が良しとされている風潮の改善
- ・急な変更(増減)をしない 急な変更に対応する為の在庫をかかえるリスクが出る
- ・牛の体調やエサ、季節で風味が変わるのを知ってほしい

もしその商習慣が改善されれば、年間どの程度のロスが改善される可能性があるか、お分かりになる範囲でお教えてください。(年間(t))

改善量(年間 t)	0~1 t 未満	1 t ~10 t 未満	10 t 以上	少量・不明
事業所数	9 (29%)	8 (26%)	7 (23%)	7 (23%)

31 件の回答があった。0~1 t 未満が一番多く、全回答数の 29%であった。最も多かったのは年間 20 t 改善される可能性があるとした回答で、2 件あった。

設問 13:この数年で食品ロスの観点で商習慣が改善された事例はありますか？

	全体	10 名以下	11 名~50 名	51 名以上	不明
はい	34 (23%)	3 (9%)	9 (23%)	16 (36%)	6 (20%)
いいえ	114 (77%)	32 (91%)	30 (77%)	28 (64%)	24 (80%)
計	148 (100%)	35 (100%)	39 (100%)	44 (100%)	30 (100%)

改善された事例が「あった」と答えたのは全回答数の 23%であった。また規模が大きいほど「あった」と答えた割合が高かった。

もしあれば、その内容をお教えてください。

全部で 35 件の回答があった。主な内容を記す。

1. 発注リードタイム:7 件

- ・発注リードタイムの見直し。(前日→前々日発注以上に緩和)
- ・発注のリードタイムを延ばしてもらった
- ・発注リードタイムが当日(LT1)から前日(LT2)へ変更された。FAX 受注から発注者側が入力するオンライン発注へ切り替えた
- ・納品日前日発注から前々日発注にいただいた

2. 賞味期限または納品期限の延長: 13 件

- ・納品先からの納品希望賞味期限の延長
- ・一部御理解頂けた納品先様に対する出荷時間や納品期限が緩和され、生産効率向上により食品ロスが改善された
- ・一部ユーザーで出荷鮮度の許容範囲が広がった先がある

3. その他

- ・賞味期限は延びてきたが、納入許容が延びることがない。(今まで賞味期限は 8 日間、10 日間、14 日間と延ばしたが納入許容は延びなかった。)
- ・フードバンク〇〇(注: 〇〇は都市名)へ
- ・在庫管理機能の強化の為、新しく部署を立ち上げ、発注管理の改善の実施
- ・小ロット生産の集約化
- ・特売時の発注のみ、製造に間に合うように事前発注をもらう

また、その事例によりどの程度のロスが改善されたかお分かりになる範囲でお教えてください。(年間(t))

改善量(年間 t)	0~1 t 未満	1 t ~10 t 未満	10 t 以上	少量・不明
事業所数	6 (43%)	1 (8%)	2 (15%)	4 (31%)

回答数が少ないが、1 t 未満が半数近くを占めていた。なお、最も多かったのは、年間 18 t であった。また、250 万/年と金額での回答があった。

設問 14:「2024 年問題」(トラックドライバーの時間外労働の規制強化に伴う物流量減少問題)へは様々な施策が必要となると考えられます。その際、返って欠品リスクや食品ロスが増加すると考えられる施策はありますか？

	全体	10 名以下	11 名~50 名	51 名以上	不明
はい	23 (16%)	3 (8%)	5 (14%)	8 (19%)	7 (23%)
いいえ	125 (84%)	35 (92%)	32 (86%)	35 (81%)	23 (77%)
計	148 (100%)	38 (100%)	37 (100%)	43 (100%)	30 (100%)

もしあればその内容をお教えてください。

全部で 32 件の回答があった。

主な意見

- ・突発的な追加注文に対応できなくなる可能性あり。
- ・生産遅れが発生した際、運送会社を待たせる時間が短くなるためキャンセル発生の可能性が増える
- ・配送日が 1 日延びると、賞味期限が短い製品の食品ロスや取り扱い数量減少に波及しないか不安を感じる。

- ・在庫不足の場合の追送が困難になるため、予備在庫を多く持つと日遅れロスが増加する。
- ・リードタイムが延びることにより 1/3 ルールでの廃棄が増える。
- ・ドライバー待機時間軽減のため、在庫数を増やしている。余分な在庫は廃棄対象となる。
- ・リードタイムが伸びるであろう事と生産ストックの関係から欠品を防ぐ為の廃棄(食品ロス)が増えるかもしれない。
- ・中継地点が増えることにより賞味期限の残り日数が減る
- ・納品回数減少に伴い、見込み量が増える
- ・現時点ではわからない

発生が予想されるロス量をお分かりになる範囲でお教えてください。(年間()t)

全回答数は6件であった。年間0.1t、0.3t、2t、5t、10t、わからない、がそれぞれ1件ずつであった。

設問 15: 賞味期限を長くつけるために「日付が変わる夜中 0 時スタート」の生産を行っていますか？

	全体	10 名以下	11 名～50 名	51 名以上	不明
はい	12 (7%)	2 (5%)	1 (2%)	8 (17%)	1 (3%)
いいえ	156 (93%)	40 (95%)	46 (98%)	40 (83%)	30 (97%)
計	168 (100%)	42 (100%)	47 (100%)	48 (100%)	31 (199%)

大半の事業所が午前 0 時スタートの生産を行っていなかった。午前 0 時生産をしているのは 12 事業所と少数であったが、規模が大きいほど 0 時スタートの生産を行っている割合が高い傾向があった。

2023年7月

牛乳の商習慣実態に関するアンケート

日本乳業協会環境部

貴社名

ご担当者

電話番号

e-mail

*ご担当者様の名刺添付でも構いません

* 今回のアンケート結果は、お応え頂いた事業者名が分からないように取り纏めを行います。

* 数量の設問についてはお分かりになる範囲で結構です。もし全く数値が把握出来ていない場合は空欄でも結構です。

【牛乳製造の有無、物量について】

設問1 貴事業所ではチルド流通の家庭用もしくは業務用「種類別 牛乳」（以下「牛乳」）を製造していますか？（学乳は除きます）

はい	いいえ
----	-----

もし「牛乳」を製造している場合、以下の設問にご協力ください。

（「牛乳」の製造をしていない場合は以下の全ての設問への回答は必要ございません）

設問2 「牛乳」の年間生産量をお教えてください。（年間（ ）t）

設問3 「牛乳」の包装容量をお教えてください。複数種ある場合は全てご記入ください。

（ 、 、 、 ）ml

設問4 製造している「牛乳」の賞味期限をお教えてください。製造後（ ）日間

【納品期限について】

設問5 納品先から製造後何日以内の納品（D+○以内）を要請されていますか？

チャネル別でお答えください。

CVS： D+（ ）以内、 量販：D+（ ）以内、

ドラッグストア：D+（ ）以内、 その他：D+（ ）以内

設問6 実運用上、各チャネルにはD+○で納品されていますか？

CVS： D+（ ）、 量販：D+（ ）

ドラッグストア：D+（ ）、 その他：D+（ ）

【顧客との契約について】

設問7 欠品発生時のペナルティの取り決めはありますか？

はい	いいえ
----	-----

取り決めの有無にかかわらず、もし欠品発生時にペナルティを受けているとしたらそのペナルティの内容を教えてください。

--

設問8 欠品発生時のペナルティ以外に製造者側に明らかに不利と考えられる取り決めはありますか？

はい	いいえ
----	-----

もしあれば、その内容を教えてください。

--

【日付逆転について】

設問 9 賞味期限の日付逆転納品は許容されていますか？

はい	いいえ
----	-----

もし、許容されていない場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。（年間（ ） t）

【見込み生産について】

設問 10 見込み生産のために、多く生産し過ぎた製品（製造工場管理内）の取り扱いはどの様にして
いますか？（例：回収して加工乳、乳飲料へ再利用等）

--

食品ロスとして取り扱っている場合、お分かりになる範囲でロス量をお教えてください。

（年間（ ） t）

設問 11 見込み生産の精度改善の取り組みは進んでいますか？

はい	いいえ
----	-----

もし進んでいるとしたら、お分かりになる範囲で改善量をお教えてください。年間（ ） t）

【その他】

設問 12 食品ロス削減の観点で、取引先へ改善要請したい商習慣があれば、教えてください（自由記
述）

--

もしその商習慣が改善されれば、年間どの程度のロスが改善される可能性があるか、お分かりに

なる範囲でお教えてください。（年間（ ） t）

設問 13 この数年で食品ロスの観点で商習慣が改善された事例はありますか？

はい	いいえ
----	-----

もしあれば、その内容をお教えてください。

--

また、その事例によりどの程度のロスが改善されたかお分かりになる範囲でお教えてください。

(年間 () t)

設問 14 「2024 年問題」(トラックドライバーの時間外労働の規制強化に伴う物流量減少問題) へは様々な施策が必要となると考えられます。その際、返って欠品リスクや食品ロスが増加すると考えられる施策はありますか？

はい	いいえ
----	-----

もしあればその内容をお教えてください。

--

発生が予想されるロス量をお分かりになる範囲でお教えてください。(年間 () t)

設問 15 賞味期限を長くつけるために「日付が変わる夜中 0 時スタート」の生産を行っていますか？

はい	いいえ
----	-----

設問は以上です。

ご回答ありがとうございました。

9月20日(水)までに返信用封筒で返送頂きますようお願いいたします。